



大宇宙と小宇宙 — 星と海と人と

洋の東西を問わず、古代から人間は星を見て暮らしてきました。

農業はもちろん、航海、占い、神話など、数多くの分野で星は極めて重要な観察対象でした。

その結果、星は文化的にも社会的にも多種多様な形となって表れてきました。

今年、大分空港がアジア初となる「宇宙港」となることが決まり、県内外から多くの注目を集めています。

経済的にも観光的にも大分県にとって大きなチャンスとなることは間違いありません。

そこで、本学大学院としても、「宇宙」や「星」をテーマとした講演会・シンポジウムを開催することで、人々の関心を一層高め、「宇宙港=大分県」のイメージの確立の一助としたいと思います。

専門家による講演会と本学教員を交えたシンポジウムでは、多彩な専門家によるアプローチでテーマについて論じます。

2022年

日時

10月29日(土)
13:00 (※受付開始 12:15)

会場

別府大学メディア教育・研究センター4F
メディアホール
大分県別府市北石垣82

I 講演会 (13:10~14:10)

「大分から宇宙へ～人と宇宙のつながりとは」

塚田 健氏 (平塚市博物館学芸員)

塚田 健 (つかだ けん) 氏略歴

平塚市博物館学芸員(天文学)。1982年生まれ。神奈川県出身。東京学芸大学大学院教育学研究科理科教育専攻修士課程修了後、姫路市宿泊型児童館「星の子館」の天体観測担当職員を経て現職。専門は太陽系小天体と太陽系外惑星の観測的研究。博物館でプラネタリウムの投影や講座の開催、特別展の制作などをしつつ、館外でも様々な天文普及活動に携わっている。著書に「図解 身近にあふれる「天文・宇宙」が3時間でわかる本」(明日香出版社)や「わかる! 楽しむ! 火星大接近&はやぶさ2」(共著・誠文堂新光社)。月刊「天文ガイド」(誠文堂新光社)にも記事を執筆中。

II シンポジウム (14:25~)

塚田 健氏 (平塚市博物館学芸員)

浅野 則子 (日本語・日本文学専攻 教授)

「地上を映す空」

玉川 剛司 (史学・文化財学専攻 准教授)

「古代人と星—装飾古墳から—」

矢島 潤平 (臨床心理学専攻 教授)

「宇宙とメンタルヘルス」

陶山 明子 (食物栄養学専攻 教授)

「宇宙と食」

お断り 新型コロナウイルス感染の感染状況によっては、一般の方の来場をお断りする場合があります。

一般の方の来場の可否については10月26日までに大学ホームページにてお知らせいたします。

来場可となった場合、入場の際には、以下のようにさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 検温を実施し、37度5分以上ある方は入場をお断りさせていただきます。
2. 手指の消毒をお願いします。
3. 連絡先(氏名及び電話番号)のご記入をお願いします。(お預かりした個人情報は、保健所等公的機関による感染経路調査のために提供を求められた場合を除き他の目的には使用せず、個人情報保護法等に基づき厳重に管理します)
4. メイン会場の定員を80名とさせていただきます、もしそれを超えた場合は、他会場でのビデオ視聴をお願いいたします。
5. 「3密」回避のため場内では所定の席にご着席ください。また、マスク着用のうえ、他の来場者とのソーシャル・ディスタンスにご留意ください。

入場無料

お問い合わせ

食物栄養科学部 事務室

担当: 今吉

電話 0977-66-9630

FAX 0977-66-9631

別府大学

検索

